

あなたの市は大丈夫？

市財政、財務諸表のチェックポイント

デトロイト市破産のニュースはまだ記憶に新しい。市職員・および退職者の年金基金への債務が市財政を圧迫し、破産へ追い込んだと伝えられている。アメリカのどの地方公共団体(州、郡、市)も年金基金の負債が財政への負担となっている。自分の住んでいる市の状態はどうなんだろう？簡単な財務諸表のチェックポイントをご紹介します。

フリーマン 美幸 mfreeman@mgocpa.com

8/21/2013

あなたの市は大丈夫？

市財政、財務諸表のチェックポイント

2013年7月18日、デトロイト市は連邦破産法第9条の適用を申請した。CNNの記事によると、市の負債総額は約180億ドル(約1兆8000億円)に達し、6月の時点で既に約20億ドルの債務返済を停止し、さらに市の予算の38%は年金や債務処理といった負の遺産の整理に使われていた、とのこと。

デトロイト市の2012年会計年度 会計報告書

デトロイト市の2012会計年度(2012年6月30日会計年度末)の独立監査人報告書は2012年12月28日に発行されている。監査人はUnqualified Opinion(財務諸表に特段の問題点がない場合に表明されるもの)を表明している。しかし、報告書の第4パラグラフに、事業継続に問題がある(Going Concern Consideration)と説明区分が追加されている。(FY12 CAFR Pg.2)

地方公共団体の財務諸表は行政の一般(警察・消防を含む)を司るGovernmental Activitiesと、上下水道、空港業務などのサービスを提供しその収益で業務運営を行うBusiness-type Activitiesの2種類がある。この2つを合わせてPrimary Governmentと呼び、市・郡全体の財務状況を示す。

デトロイト市の純資産計算書(Statement of Net Assets)によると(Pg.41)、市は2012年6月30日時点で約107億ドルの負債があり、うち、91億ドルが長期負債である。市の純資産は3億7000万ドルの赤字となっている。長期負債の内訳は財務諸表の後に続く注記(Note Disclosure)で詳細が書かれている。Note VII (Pg.100)からが長期負債に関する注記だ。市公債や支払手形による長期負債につづいて年金債権(Pension Obligation Certificates Payable)が記載されている。Governmental Activitiesで約11億9427万ドル、Business-type Activitiesで約9000万ドルの負債がある。その他の長期負債の項目に挙げられてるOther Postemployment Benefitsも年金と同じような市職員退職後給付金だ。Governmental Activitiesで約6億2000万ドル、Business-type Activitiesで約5700万

City of Detroit Website

<https://www.detroitmi.gov/>

Enter "CAFR" to search the
Comprehensive Annual Financial
Report

ドルの長期負債となっている。合計で約 32 億 4600 万ドルが職員退職後の給付金関連の長期負債となっており、長期負債全体の33%を占めている。

年金や退職後給付金関連の負債を見るときは、財務諸表に計上されていない部分にも注目しなければならない。CAFR には必ず Pension Plan(Pg.121)と Other Postemployment Benefits(Pg.124)に関する注記がある。ここでは、市が職員に提供している退職金(年金プラン)や退職後給付金の説明と年金基金の簡単な状況が記載されている。Pg.124 によると、2011 年 6 月 30 日の時点で年金基金は約 68 億 8500 万ドルの資産(Actuarial value of assets)があるものの、約 75 億 2900 万ドルの年金数理による見越し負債(Actuarial accrued liability)があり、約 6 億 4400 万ドルの積み立て不足額(Unfunded AAL - UAAL)が生じている。この不足額は財務諸表には計上されていない。退職後給付金の状況も同様である。Pg.127 によると、2 つの給付金プログラムがあり、積み立て不足額の合計は約 57 億ドルとなっている。デトロイト市は 60 億ドル以上の退職年金・給付金がらみの潜在的負債がある状態だ。

年金制度について

サンディエゴ市をデトロイト市との比較にうつる前に、退職金制度について簡単に説明したい。退職金制度には 2 つの種類がある。Defined Benefit Plan(DB Plan 確定給付型年金制度)と Defined Contribution Plan(DC Plan 確定拠出型年金制度)だ。

DC Plan の例は 401 (k) プランで、サラリーマン諸氏にはおなじみかと思う。企業年金の一般的な制度で、雇用者はプランで決められた拠出を行うだけで、DB Plan のように将来の給付を保障する必要がない。被雇用者は受け取った拠出金を退職給付時まで投資運用していく。受け取った拠出金や運用収益は退職金給付時までには課税繰延となる。投資運用の成果に関して雇用者は責任がない。

DB Plan は退職後の給付額をあらかじめ決めておき、その給付額をまかなうのに必要な掛け金を、予定利率や平均寿命、従業員の給与額などを考慮した年金数理計算 (Actuarial Valuation) により算出して、拠出する制度だ。通常年金基金が創設され拠出金を投資運用していく。退職後の給付額が保証されており、拠出金の投資運用リスクは雇用者が負う。退職者への給付は年金基金から支払われ、基金の不足分(UAAL)は雇用者が補填する。先に退職年金・給付金がらみの積立不足分を潜在的負債がある状態と説明したのは、DB Plan では UAAL を雇用者が補填することになっているからだ。

近年は、地方公共団体でも DC Plan が採用され退職年金の財政負担を軽減させる方向にあるが、現段階では厳しい状況だ。

サンディエゴ市の 2012 年会計年度 会計報告書

さて、自分の住んでいるサンディエゴ市の場合はどうだろうか？サンディエゴ市の 2012 会計年度の報告書を見てみよう。

独立監査人報告書は 29 ページに掲載されている。Unqualified Opinion が表明されており、いくつかの説明区分がある。第4パラグラフに約 22 億ドルの退職年金に関する UAAL、第 5 パラグラフに約 4 億 5000 万ドルの退職後給付金に関する UAAL があると述べられているものの、事業継続に問題があるとかはまったく述べられていない。

City of San Diego Website

<http://www.sandiego.gov/comptroller/reports/index.shtml>

Click "CAFR – Fiscal Year Ended June 30, 2012" for a copy of the entire report

純資産計算書(Statement of Net Assets)を見てみよう。(Pg.48-49) 49 ページの長期負債の項目の中に Net Pension Obligation (NPO) と Net other Post Employment Benefit Obligation (NOPEBO) の項目を見つけることができる。Primary Government で NPO は約 2.億 5000 万ドル、NOPEBO は約 1.億 4000 万ドルだ。デトロイト市の約 32

億強ドルの負債と比べるとかなり小さい。そして市全体として純資産は約 85 億ドルの黒字だ。

どうやらサンディエゴ市では退職年金や退職後給付金の負債が過度に財政を圧迫していることはなく、警察・消防、街頭整備など一般行政活動が通常に行われているようだ。

最後に

現在では年金基金の UAAL は財務諸表の後に続く注記のみで公表されているが、政府会計基準の変更により、2015 年会計年度から財務諸表の負債項目に計上されることとなる。これにより、多くの市・郡の純資産が赤字発表になると予想されている。

地方公共団体の会計報告書はホームページに必ず掲載されていて、誰でも自由に無料で閲覧できます。普段あまり自分の住んでいる市・郡の会計報告書などを読むことはないかもしれませんが、これを機会に少しでも興味をもって読んでいただけたらうれしいです。